

幼き日に戻って

本とわたし
314

森本 朋子

あすかホールに中川李枝子先生が講演に
来られることになりました。絵本や童話で育
った私には憧れの人です。すぐ図書館に行き、
何冊か借りてきました。先生のお話を伺う前
に少し読んでおきたいと考えたからです。
『いやいやえん』を読んでいくうちに、いつ
の間にか「朋ちゃん」と呼ばれていた子供
時代に戻っていきました。

一番好きだったのは「ちこちゃん」。ちこ
ちゃんの真似ばかりするしげるは所謂、問題
児かもしれないけれどちよつとうらやまし
いな。だって、私も本当はあんな事してみた
い。机を三つも重ねてその上に乗るんだっ
て！そしたら天井が触れて白い粉がなめた
人差し指にくつつくんだって！その白い粉
のザラツとした感触と苦い味までが私の中
に残っていたのはとても不思議です。先生が
厳しい態度でちこちゃんの洋服をしげるに
着せた時は悲しかったな。最後に脱がせても

らえた時は、安心しながらも、どっと疲れが
出てきました。

二番目に好きなのは「山のぼり」。赤、黄、
橙、黒、桃色の五つの山が本当にどこかにあ
るのだと思っていました。しげるが先生との
約束を守らずに果物を二つずつ食べてしま
った時、よくない事が起こりそうで泣きそう
になりました。読んでいた六歳の私がそこに
います。しげると一緒に幼い私自身にも会え、
懐かしいような照れ臭いような、何とも言え
ない甘酸っぱい気持ちが込み上げてきまし
た。

ここまで書くともまるで童話オタクのよう
ですが、普段の私は決してそうではありませ
ん。時代小説（特に幕末物が好き）、推理小
説、恋愛小説、エッセーなどジャンルを問わ
ずに読んでいます。本は知らない世界に連れ
て行って様々な体験をさせてくれる、私にと
って有難い友人なのです。これも、幼い日に
読書という習慣をつけてくれた母のおかげ
かな？

様々な事を思いながら二冊目を手に取り
ました。

(石海)

新着図書紹介(ノン・フィクション)

2012. 10

書名	著者	出版社	請求記号
時間と空間をめぐる12の謎	ロビン・レ・ペドヴィン	岩波書店	112
ニッポンの負けじ魂 「バクス・ヤポニカ」と「軸の時代」の思想	山折 哲雄	朝日新聞出版	160.4
東北の伝承切り紙 神を宿し神を招く	千葉惣次 大屋孝雄	平凡社	176.6
消えたヤルタ密約緊急電 情報士官・小野寺信の孤独な戦い	岡部 伸	新潮社	209.7
敗戦と戦後のあいだで 遅れて帰りし者たち	五十嵐 恵邦	筑摩書房	210.7
ベル・エポックの国際政治 エドワード七世と古典外交の時代	君塚 直隆	中央公論新社	233
ホロコーストの音楽 ゲッターと収容所の生	シリル・ギルバート	みすず書房	234
佐治敬三 夢、大きく膨らませてみなはれ	小玉 武	ミネルヴァ書房	Bサジ
関西トレッキングBESTコースガイド		昭文社	291.6
アグルーカの行方 129人全員死亡、フランクリン隊が見た北極	角幡 唯介	集英社	297.8
日本よ、カダフィ大佐に学べ	高山 正之	新潮社	304
「経済効果」ってなんだろう？	宮本 勝浩	中央経済社	331.1
世界の99%を貧困にする経済	ジョセフ・E・スティグリッツ	徳間書店	332.5
世界で通用する人がいつもやっていること	中野 信子	アスコム	336
コーチング以前の上司の常識「教え方」の教科書	古川 裕倫	すばる舎	336.4
若者が働きはじめるとき 仕事、仲間、そして社会	乾 彰夫	日本図書センター	366
官僚制としての日本陸軍	北岡 伸一	筑摩書房	396.2
暴走するバイオテクノロジー	天笠 啓祐	金曜日	404
生命と記憶のパラドクス 福岡ハカセ、66の小さな発見	福岡 伸一	文藝春秋	460.4
虫と文明 蜚のドレス・王様のハチミツ酒・カイガラムシのレコード	ギルバート・ワルドパウアー	築地書館	486
ヒトの子どもが寝小便するわけ	福田 史夫	築地書館	489.9
血糖値がぐぐっと下がる、減る知恵とコツ		主婦の友社	493.1
不安解消！めまい あなたに合った対策がわかる		NHK出版	493.7
子どもの共感力を育てる	ブルース・D. ペリー	紀伊國屋書店	493.9
生きのびるためのがん患者術 伝わる「ことば」の使い方	青木 晴海	岩波書店	494.5
体調管理は天気予報で！！ 村山貢司の健康気象学	村山 貢司	東京堂出版	498.4
柳宗理 「美しさ」を暮らしの中で問い続けたデザイナー		河出書房新社	501.8
原発依存の精神構造 日本人はなぜ原子力か「好き」なのか	斎藤 環	新潮社	543.5
和紙の里探訪記 全国三百カ所を歩く	菊地 正浩	草思社	585.6
パターンレーベルの子供服ソーイングLESSON BOOK	片貝 夕起	日本ヴォーグ社	593.3
女子栄養大学クリニックのダイエット献立		主婦の友社	596
自家製グラノーラと朝の焼き菓子	原 亜樹子	バルコエンタテインメント事業部	596.6
ビジュアル版わかる・防ぐ・治す人にもやさしい病虫害防除		講談社	623
トマトはどうして赤いのか？ 身近な野菜を科学する	稲垣 栄洋	東京堂出版	626
ユネスコ「無形文化遺産」 生きている遺産を歩く	国末 憲人	平凡社	709
播磨の石棺と石棺仏	中村 和男	神戸新聞総合出版センター	718.4
国宝神護寺三像とは何か	黒田 日出男	角川学芸出版	721
クレヨンブック プロから学ぶ、楽しく描く	米津 祐介	誠文堂新光社	725.4
かんたんティッシュ工作	駒宮 洋	学研教育出版	754.9
ドビュッシーとの散歩	青柳 いづみこ	中央公論新社	762.3
関西版海のファミリー釣り場ガイド		海悠出版	787.1
女性のための将棋の教科書 誰でも簡単に始められる入門編		土屋書店	796

新着図書紹介(文学)

2012. 10

書名	著者	出版社	請求記号
水のかたち 上・下	宮本 輝	集英社	ミヤ
ケルベロスの肖像	海堂 尊	宝島社	カイ
空飛ぶ広報室	有川 浩	幻冬舎	アリ
ある男	木内 昇	文藝春秋	キウ
幸いは降る星のごとく	橋本 治	集英社	ハシ
ソロモンの偽証 2 決意	宮部 みゆき	新潮社	ミヤ
空より高く	重松 清	中央公論新社	シゲ
ノエル	道尾 秀介	新潮社	ミチ
死神は恋を連れてやってきた	渡辺 容子	双葉社	ワタ
僕の心の埋まらない空洞	平山 瑞穂	新潮社	ヒラ
ホイッスル	藤岡 陽子	光文社	フジ
白衣の神様	結城 五郎	角川春樹事務所	ユウ
傍らの人	三羽 省吾	幻冬舎	ミツ
のろのろ歩け	中島 京子	文藝春秋	ナカ
キシヤツ	小路 幸也	河出書房新社	シヨ
島へ免許を取りに行く	星野 博美	集英社インターナショナル	ホシ
奇貨	松浦 理英子	新潮社	マツ
不法愛妻家	デビット・ゾペティ	新潮社	ゾペ
人生が用意するもの	川上 未映子	新潮社	カワ
遠乃物語	藤崎 慎吾	光文社	フジ
若桜鉄道うぐいす駅	門井 慶喜	徳間書店	カド
ゼラニウムの庭	大島 真寿美	ポプラ社	オオ
さようなら、猫	井上 荒野	光文社	イノ
母親ウエスタン	原田 ひ香	光文社	ハラ
花見ぬひまの	諸田 玲子	中央公論新社	モロ
等伯 上・下	安部 龍太郎	日本経済新聞出版社	アベ
重蔵始末 7 蝦夷篇 逆狼果つるところ	逢坂 剛	講談社	オウ
影と胡蝶 影流開祖愛洲移香伝	好村 兼一	光文社	ヨシ
先生のお庭番	朝井 まかて	徳間書店	アサ
慶長・元和大津波奥州相馬戦記	近衛 龍春	毎日新聞社	コノ
日輪にあらず 軍師黒田官兵衛	上田 秀人	徳間書店	ウエ
ゾーン 豊洲署刑事岩倉梓	福田 和代	角川春樹事務所	フク
アルカトラズ幻想	島田 荘司	文藝春秋	シマ
猿の悲しみ	樋口 有介	中央公論新社	ヒグ
共犯	深谷 忠記	徳間書店	フカ
彼女の時効	新津 きよみ	光文社	ニイ
南十字星の誓い	森村 誠一	角川書店	モリ
フェルメールの仮面	小林 英樹	角川書店	コバ
真実への盗聴	朱野 帰子	講談社	アケ
煽動者	石持 浅海	実業之日本社	イシ
バビロンの魔女	D・J・マッキントッシュ	エンジン・ルーム	Fマツ
無罪	スコット・トゥロー	文藝春秋	Fトウ

ハーモニカのめいじんレントイル

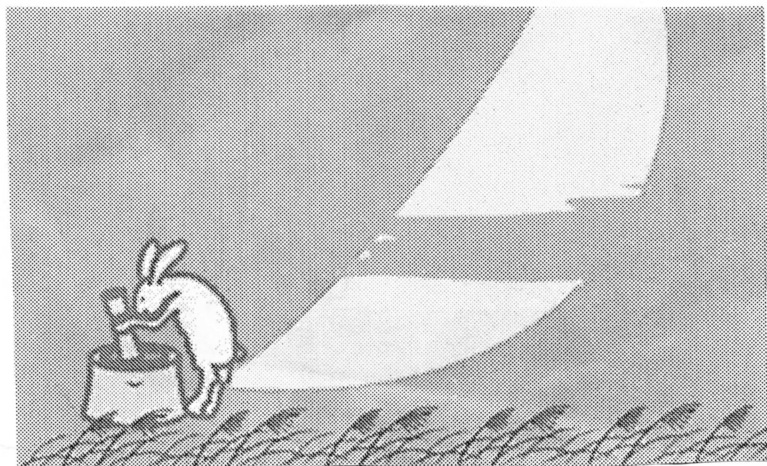
ロバート・マックロスキー ぶん・え
まさきるりこ やく (国土社)

レントイルは歌がうたえず、その上、口をうまくすぼめられないので、口笛も吹けませんでした。そこで、暇さえあればハーモニカを練習しました。道行く人々はレントイルの音楽が大好きでした。けれども、誰のすることも気に入らず、ぶつくさ言つてばかりいる苦虫じいさんだけは別でした。

あるとき、町一番の有名なカーター大佐を歓迎するため、人々は駅前に集まりました。大佐が汽車から降りた瞬間に、演奏を始めようと、吹奏楽団も待ち構えていました。ところが、まさにその瞬間、苦虫じいさんがレモンの汁をすすっているのがみんなの目に入りました。みんなは口が酸っぱくなって、すぼまり、楽器を吹くことができなくなりました。ただひとり、口をすぼめられないレントイルがハーモニカを吹き始めました。しかも面だったカーター大佐が次第に笑い出し、町の人たちも一緒に歌いだしました。

苦虫じいさんでさえ大喜びの結末に満足を感じます。黒一色の絵は、人物の表情が丁寧に描かれていて、町中で音楽を楽しんでいる様子が伝わってきます。読んでもらえば、六歳から楽しめます。

(小西)



子どもの本だな 148

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

サム・ピッグだいかつやく

アリソン・アトリー作

神宮輝夫訳 多田ヒロシ画 (岩波書店)

こぶたのサムは、かかしのジョーに代わり、一日だけ麦畑で仕事をするようになりました。

片手に棒を持ち、一本足で立ったサムが、元気に歌うのでからすは畑に近づけません。ところが、サムが疲れて座ると、お百姓の姿が見え、慌ててかかしにもどらなくてはいけません。サムは、畑を守りながらハーモニカを吹き、あやとりをしました。暗くなっておなかのすいたサムは、農家に忍び込みました。牛乳をたっぷり飲み、パンやチーズをポケットに詰め込んでいると、乳搾りの娘に見つかりました。男たちに追われますが、畑に逃げこみ、かかしになりました。

サムは、ジョーの帰りを待って、何日も畑に立ち続け、とうとう、お百姓に正体を知られたところに、おまわりさんに連れられたジョーが帰ってきます。(サムとかかし) 約束を守り、仕事をやり通すサムの素直さややと家に帰れる安心感が伝わってきます。他に四編、三匹のきょうだいと暮らすサムの日常が、のんびりした田舎や自然を背景に描かれています。読んでもらえば四歳から楽しめます。

(竹内)

金曜の夜は図書館へ

図書館は、普段は午後6時に閉館しますが、毎週金曜日は午後8時まで開館しています。この夜間の開館を利用される方は多く、夕食をすませたご家族やお勤め帰りの方がめだちます。そのためか、この時間の図書館はゆったりとした落ち着いた雰囲気になります。秋の訪れとともに夜が長くなります。週末の夜のひととき、図書館でゆっくりと本をお選びください。

10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

10月・11月の移動図書館(いずれも木曜日です)

10月	11月	10:30 ~11:00	11:10 ~11:40	14:30 ~15:00	15:10 ~15:40	16:00 ~16:30
11日	8日	塚森 公民館	/	福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
18日	15日	岩見構下 公民館		岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲示板 前
25日	22日	広坂 ポスト前	上太田 公民館	沖代 地域内	吉福 公民館	太子ニ ュータ ウン 公民館

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

×印は休館、□印は午後1時まで開館。
開館は10時からです。
金曜日は午後8時まで開館しています。

地下水

『パトカーばとくん』『おまわりさんのスモールさん』の他に、パトカーかおまわりさんが出てくる絵本、ないですか」と後輩のTさん。一年生のHくんがさがしているという。『パトカーのピーすけ』は?と書架を見に行くと、あいにく貸出中。「救急車か消防車でもいいですか?」とお母さんにきくと、パトカーに限るのだそう。結局、少しでも登場していればとTさんが『かもさんおとおり』と『わにがまちにやってきた』を出してみると、Hくんは「借りてみる」と持って帰った。

『フィンランドのごはん』を借りようと、カウンターに持ってきたYくん(四歳)。貸出の日付印を押しながら、「何でフィンランドなんでしょう?」とIさんがきくと、横からお父さんが「(シリーズの)12番だからだそうです。Mちゃん(一年生)は「0番のほんがいい」と言うので、よくきいてみると「誰も借りてない本」のことだった。

子どもたちの本の選び方は様々で、思いがけない理由にびっくりするやら笑えるやら。探している本の説明もそれぞれで、『めつきらもつきらどおんどん』という絵本は「ちんぷくまんぷく(中にでてくる歌)の本」「おたからまんちん(登場人物の名)の本」になる。その子の中で、何が印象的だったかが伺えて面白い。

先日、2歳の女の子が探していたのは「どうぶつがおんがくする本」。動物たちが歩くというので『もりのなか』を出してみたが「ちがう」という。これかも、と思う絵本が見つかったので、今度来たときに見せようと楽しみにしている。(池田)